

E-8

気温上昇に関する検証済みの実験内容とデータを提示して下さい

(回答)

参考資料として、現在稼働中の太陽光発電所における外気温度観測データをご提出致します。

(※参考資料としてご提出させていただきますが、今回計画している太陽光発電所とは別の現在稼働中の発電所による観測データとなりますので、インターネット上へのアップや観測データを使用しての資料作成による配布等のご遠慮願います。)

E-10

ソーラーパネル反射光が届く範囲を示す図面はいつ出来上がるのですか

(回答)

現在県及び市におきまして設計審査中であり、造成計画やパネル枚数等が変更になる場合がございます。審査中における質疑にあるような図面の作成につきましては、混乱を招く場合がございますので設計審査終了後、ソーラーパネルの種類と枚数、アレイ配置や角度等が決定次第、作成しご提出致します。

F-4

資産価値は低下しないと考えているとの回答ですが、断言していない表現に真実が隠されていると推察されます

(回答)

間違った情報だけではなく、不確かな噂やあいまいな情報を元に生じる風評被害により、事業区域周辺における資産価値等の低下はないと考えておりますが、そのような被害により資産価値の低下につながらないよう、今後におきましても正確な情報による事業説明や質疑回答をさせていただきます。

新G-1

8/17 市主催の地元住民と事業者の意見交換会にて話題となった工事中の土砂災害防止について、一番小さな調整池3から順次工事を進めていくので問題ない旨の答弁をされていたと記憶しておりますが、十分理解できなかつたので改めて質問します 工事中の崖崩れ、土砂の流失、地盤の沈下、および溢水等による災害をどのように防止するのか、具体的な防止策並びに工事の順番及び各工程の工期も含め説明して下さい

(回答)

現在予定している工事手順としましては、事業区域からの災害発生防止の観点から防災工事が第一優先となり、事業計画地をいくつかの工区に分けて工事を開始していきます。

第一に、出入り口にあたる八幡野川にボックスカルバートを敷設し、通路の確保及び八幡野川の水路の確保を致します。次に、雨水による土砂崩れや濁水の流出を防止する為に、仮設矢板のような柵を周辺地形等に考慮しながら設置し、調整池3を築造致します。各調整池を築造する段階におきましても仮設防災調整池等を設け、土砂崩れや濁水の流出防止を図ります。また、適宜にろか装置や濁水処理装置を設置し、八幡野川への濁水の流出を防止致します。(B-1で回答しているろ過装置及び濁水処理装